

あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画【概要】

(令和2年2月13日第2回会議で策定、令和5年2月15日第8回会議で改訂)

I 策定の背景/目的

- いわゆる就職氷河期世代※は、バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、希望する就職ができず、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業やひきこもりの状態にあるなど、様々な課題に直面している方は全国で約100万人に上ると見込まれている。
- 「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」では、こうした就職氷河期世代が抱える課題を踏まえ、官民一体となって一人一人の状況に応じた支援に取り組むことにより、就職氷河期世代の**就職・正社員化、職場定着の促進及び多様な社会参加の実現**を目指す。

※ 概ね平成5(1993)年～平成16(2004)年に学校卒業期を迎えた世代を指す。

II 目標

計画期間：令和2年度～令和6年度

- 就職氷河期世代の正規雇用者を17,700人増やす。(政府の目標(骨太方針2019)である30万人の約5.9%)
- 長期間無業状態の方には、地域若者サポートステーションにおいて、就職活動へ踏み出すための支援を行い、就労等につなげる。
- 社会参加に向けた支援を必要とする方には、一人一人の状況に合わせた、就労に限らない多様な社会参加に向けた支援体制の充実を目指す。

III 取組の方向性

- 本県の厚い産業集積を活かした多様な雇用機会の創出
- 魅力ある職場づくりやメンターの養成等による職場定着の促進
- 市町村プラットフォームの形成による支援体制の充実・ネットワークづくりの促進

IV 主な取組

- ◆ **社会気運の醸成・効果的な周知広報**
 - あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームで採択した「あいち就職氷河期世代応援宣言」を広く周知
 - メディア、SNS、コンビニ等あらゆるルートを通じた支援策の積極的な広報

◆ 不安定な就労状態にある方へ

- ハローワーク専門窓口を始めとした相談体制の整備・充実
- 企業と就職氷河期世代のマッチングを図る就職面接会や実践的な職業訓練の実施等による雇用機会の拡大
- テレワークの普及促進等による多様な働き方への対応
- 若者職場定着サポーターの養成等による職場定着への支援

◆ 長期にわたり無業の状態にある方へ

- 地域若者サポートステーションと福祉施策担当機関との連携強化(サポステ・プラス)による相談体制の整備・充実
- 地域若者サポートステーションやハローワーク等が連携した訓練プログラムの実施や、生活福祉資金貸付の新規メニューの創設等による職業的自立への支援
- ハローワークやサポステにおける企業及び本人に対する職場定着への支援

◆ 社会参加に向けた支援を必要とする方へ

- 市町村プラットフォームにおける課題等の収集や好事例の全県的波及を図るための方法を検討
- アウトリーチ支援員の配置等による生活困窮者自立支援事業の充実
- 市町村におけるひきこもり相談窓口の明確化と支援体制の充実
- 支援者の資質向上に向けた研修の実施